

永田義直 （城が 城が） 児童文學者 明治四十一年神奈川県生れ（一九〇八）。

昭和六年東洋大學卒。兵庫縣のハム立高校教諭・校長を務める傍ら、民俗學、傳承又藝文を研究。のち著述に専念。後年千葉縣に在住。

著書『土佐日記新講』（昭和五年四月一日河村書店）、『日本神話の研究』（昭和十八年十月五日大阪・巖々堂）、『古事記の話』（昭和十九年八月五日大阪・巖々堂）、『土佐日記新講』（昭和二十二年七月二十五日大阪・藤谷景文館「學生國文叢書」）、ヨハンナ・スピリ作『ユルネリの悦び』（譯、昭和二十二年十月二十日兵庫・嫩草書房）、『むかし話とそのつづき—それからどうなったかどうしよう？—』（4版・昭和五十九年二月二十日金園社「ハウブックス」）等。

